

第
2 号
2013年(平成25年)



若竹珠算学園
石川太郎
宗像市日の里 5-3-1-43-303
0940-36-3633 / 090-3986-0700
i-taro1974@ezweb.ne.jp

大学のセンター試験が終わり、高校・大学受験の真っ只中ですね。卒業した生徒たちも必死に受験勉強していることと思います。そろばん学習を通して培った粘りや集中力を大いに発揮して、志望する学校へ進学してほしい。卒業した生徒本人や親御さんから、そろばんのおかげで計算が楽になり考える時間ができる、といった話を聞くことがあります。そうした、比較的わかりやすい効果だけでなく、限られた時間をどれだけ有効に使えるか考えたり、分からない問題に直面したときにまず自分で答えを出したりと、成績では表すことができないが生きる上で必要なこともそろばんが鍛えてくれると思います。

2月に入りインフルエンザが本格的に流行しています。早い回復のためだけでなく、他の人につうつことがないように、体調が悪い人はきちんとお休みするようにお願いします。また、治りかけの状態で開催するときにはマスクの着用をお願い致します。去年は私自身が感染してしまい、練習に穴をあけてしまいましたので、細心の注意を払い予防しています。

1月27日(日)、今年最初の第353回全珠連検定試験が行われました。冬休み明けで練習が不足がちになる1月検定ですが、各教室(徳重集会所、自由ヶ丘コミセン)の行事などで、他教室に練習場所が変更になることが多く、子供たちに負担をかけました。自由ヶ丘コミセンが建て替え工事のため、3月くらいまで2階研修室を利用できない事態も起こりうるので、お手紙に記載してある毎月の予定表をご確認いただきますようお願い致します。今回の検定で思うような結果が出なかった生徒と一から練習をやり直し、3月の検定試験でともに合格の喜びを味わえるように頑張ります。

試験の採点中、受験生の答案用紙を見て、生徒の個性や練習の仕方の特徴が、答案用紙にも表れていることに気づきました。たとえば、慎重な性格の子供は普段の練習から題数を入れるのが苦手(間違いがたくさんあるのが性格的に許せない)なため、本番でもやはり題数が入らないことが多くなります。練習中に落ち着きがない生徒の答案用紙は、書いている数字も乱れていることが多く、誤答も数多く見られます。そこで、不合格に見る生徒のタイプを考えてみました。自分はどのタイプに当てはまるか、ちょっと考えてみて下さい。自分の性格や短所・長所を知っておくことは、勉強や仕事の面でも大切ですし、人づきあいにも役に立ちます。私自身について、考えてみますと、おおざっぱ、せっかち、短気、人の話をよく聞かないことがある、考える前に口が出る、言い方がきつい、虫歯が多い(治療済)、視力が弱い、マスクをしているとめがねがすぐ曇る、などちょっと考えただけでも驚くほど出てきますが、子供に指導する前に自ら襟を正さねばと思っている次第です。

九九博士表彰式のお知らせ

2年生を対象にした平成24年度九九博士表彰式(宗像ユリックス)を、3月10日(日)に開催します。表彰式では、九九博士メダルや表彰盾の授与、親子で九九やそろばんを使ったゲームを行います。表彰式の感想では、お子さんの喜ぶさまが見られてよかったという感想を頂戴しています。今年も喜んでもらえるようしっかり準備いたします。

2年生の月謝袋に九九博士表彰式のご案内を同封しています。参加の可否を記入後、練習時に提出して下さい。宜しく申し上げます。

第353回全珠連暗算検定試験合格者

平成25年1月27日(日)

七段	平秀憲⑤ 田代翔太⑤	※ ◎は満点合格者
六段	上原未希(中2) 田上茉莉愛⑤ 北園美加⑤	
五段	土岐桃子④	
四段	河合麗②	
参段	徳田奈々⑤ 有松優奈⑤ 吉武隆成③ 河合千広⑥	
式段	郷司尚輝④ 倉橋雛③	
初段	南川莉子④	
1級	那賀夕紀恵⑤	
2級	板倉優月③ 磯辺こなつ④ 西谷悠④ 小杉彩歌④ 大森櫻④ 沖本陵之介③	
3級	辻本理乃⑥ 篠原颯雅③	
4級	辻本温土④ 和智達也③ 田上恭③ 和久利菜桜③ 三輪そのか② ◎森田帆乃花④ ◎宇郷拓海④ 中西望結③	
5級	山下知夏④ 松浦成隼④ 村尾怜真③ ◎青木一真③	
6級	増矢航大⑤	

第353回全珠連珠算検定試験合格者

平成25年1月27日(日)

七段	田中峻太⑤	※ ◎は満点合格者
四段	伊原茉莉那⑥	
参段	小林星也④ 倉橋海⑤	
式段	羽江爽一郎④ 南川莉子④ 河合麗② 佐保ななみ⑤	
初段	土岐桃子④ 倉橋雛③	
準初段	小林菜月① 田中達也⑥	
2級	竹藤和志⑥ 福田真大⑤ 上原里菜④ 中西結愛⑥	
3級	和久利萌香⑥ 足立秀一郎⑤	
4級	宇野春陽⑤ 山下華恋④ 結城舞③ 永坂麻琴③ 篠原颯雅③ 本多賢一⑥ 松井遊大⑤ 竹藤楓乃⑤ 戸波恋音③ 宇郷美花②	
5級	林昌輝⑤ 安部雅優④ 吉岡蒼馬④ 中村真人② 胡子はるか④ 宇郷拓海④ 加茂隼太朗③ 永野駿③ 有吉咲良③ 上永晴斗③ 三池響輝③	
6級	宮崎優③ 金本信吾② 江熊奨伍①	
7級	宮川海流② 有松実優① 伊藤真央⑤	
8級	永山真太朗② ◎吉田一翔(年長) ◎藤高太聖(年長) 安武孝太郎(年長) 大島東悟②	

- 9 級 ◎眞武壮純② 結城椋太① 中山鷹輔① ◎長岡響輝(年長) ◎大森慎太①
藤井浩太郎① 挾間大介②
- 10 級 ◎小島莉音① 北園江里奈(年長) 龍ことみ① 田中明莉① ◎大庭日菜子①
戸波来歌(年長) 伊藤祐真②
- 11 級 佐々木遙花① 中山暁嗣① 福本実鈴(年長) ◎酒井祥世① ◎植木愛結①
◎郭聖陽①
- 12 級 米田睦基① 吉岡杏華① 福本実香(年長)
- 13 級 ◎田口創太郎(年長)
- 14 級 ◎山根誠司①
- 15 級 ◎菅野紗世(年長)



検定後のひとこと：

勉強のつまずきが、一時的なやる気の低下につながるケースがある

『あれっ、元気ないなあ』『んっ、よくおしゃべりしているな』、子供たちが勉強につまずいているときに出すサインは様々です。時には、『気合い入れんかい!!』と一喝し、それがますますやる気の低下につながることも。片付けをしながら、反省の日々です。一番大切なのは、生徒の悩みを出来るだけ早く取り除いてやること。生徒に間違いを気付かせればすぐに克服できるものもあれば、前の級の学習内容に戻らなければならぬかなりの時間を要すものもあります。しかし、分からないポイントやきちんと身につけていないポイントを整理し、出来るようにしてやれば、悩んでいたのが嘘だったかのように再び生き生きと練習に取り組めるようになるのも、子供の素直でかわいいところです。顔や性格に個性があるように、つまずく箇所や思い悩む問題にも違いがあります。時間がかかることもありますが、温かく励ましながら、その子なりの努力で壁を乗り越えていけるように指導したいものです。

不合格のタイプあれこれ（あなたほどのタイプ？）

▽書き直しを嫌うタイプ

そろばん教室に数多く見られるこのタイプ。検定試験でばっちり答えを書いて自信満々で帰ったのに、結果を見ると『あれっ？おかしいな』という経験ありませんか？ 落ちる時は 50 点や 60 点など、思いもよらない点数をたたき出すのもこのタイプの特徴。検定試験の緊張が加わると、試験では自分の悪いところ、弱いところがどうしても出てしまいます。

書き直しは、そんなウィークポイント（弱点）を自覚し、同じパターンを繰り返し練習することで弱点を克服するのに必要です。自分で見つけた（気付いた）間違いというのは、結構早く直せるものです。間違い直しをする際には、もう一度やってみて同じ間違い（誤答）を出せるかやってみるのもオススメ。間違いの理由を理解していないと、同じことはできませんから。どうしても直せない（分からない）ときや、正解が出せないときは、先生に聞きに来て下さい。ついでに、姿勢のことや、もっと上手いやり方なんかも習えるかもしれませんよ。

間違いは、単に集中力が欠けていることで起こるケースもあります。書き直しに加え、時にはタイムを計らず、15 問書いて全部満点を目指す練習などを加えてもいいですね。同じ級の友達とどっちが満点を取れるか勝負なんていうのもオススメです。

間違いが多いのは、そろばんを弾くリズムが乱れているのも原因のひとつ。書き直しをするのは、自分のリズムを正常に戻す作用もあると思います。

▽先生にプリントを見せない（見せたがらない）タイプ

『やばい、わり算 9 0 点だった。先生になんか言われるかも。しかも、またアイツが怒られよるし。なんか機嫌悪そう・・・』 そう感じた君は、（採点結果を見せずに）しれっと

席に戻って、ひとりで書き直し。答え合わせも自己採点で、時間が来たらサイナラ～。

このタイプは、練習でいつも合格、プリントもまじめにこなしているように見えるのに、検定試験になると全く出来ずに撃沈というケースが見られます。たとえば、見取暗算に自信が持てない生徒が、先生に黙ってつい1桁ずつ（珠算式暗算は2桁、3桁をいっぺんにするのが基本です）練習してしまい、プリントの点数だけ見ればいつも良い点数。しかし、珠算式暗算がきちんと身につけていないため、検定では時間が足りずに不合格といった具合です。練習している（ように見える）のに、思うような結果が出ないというタイプですね。

理由のひとつとして、とにかく形通りの練習をこなせばいいんだと思ってしまい、計算の過程がおろそかになっていることがあります。そろばんでは、目に見える得点だけでなく、練習の仕方や計算の過程に注意が必要です。そんな問題点を抽出するためにも、生徒の答案用紙は大いに役立ちます。気にするのは点数だけではなくて、その子がどんな間違いをしているか（直すところがあるかを考えます）、題数は入っているか（問題の読み方を指導すべきか考えます）、など色んなことなのです。

生徒がプリントを見せない原因は、私（指導者）自身の教室での振る舞いや言動にもあると思います。点数だけの評価をして、生徒が練習の成果を見せにくい状況を作り上げているのかもしれない。そうした反省を踏まえ、生徒全員ときちんとコミュニケーションが取れるようにしなければと思っています。

▽練習が足りない（教室に来ない）タイプ

『あれっ、また来てないやん。〇〇ちゃん、今日学校に来とった？』『うん、来とったよ。でも家に帰りよった』、そろばん教室でたまにある会話です。加えて、風邪、インフルエンザによる病欠、そろばん教室にとっては、この時期は特に頭が痛いですね。そもそも、そろばんは理解するだけでは上達せず、いかに間を空けずにそろばんを弾くかが大切です。そういう意味では、ピアノによく似ているお稽古ですね。ある先生の教室に、『1日休むと取り戻すのに3日、2日休むと取り戻すのに1週間、3日休むと・・・』と張り紙がありました。

せつかくできるようになっても、休みが続いてまた元通りに。そうしている内に、あっという間に検定試験、そして結果は言うまでもなく・・・。風邪やお家の行事、仕方がないときもありますが、出来るだけ間隔を空けずに練習することが大切です。教室に行けないのなら、自宅で練習なんてどうでしょう？お母さんがご飯を作っている台所のテーブルで君も練習。ついでに学校の宿題もやっちゃおう。

大切なのは、練習の質（内容、練習における気合いや真剣さ）と量、お家でたくさん出来なくてもいいんです。30分でも一所懸命にやれば、きっと身になります。家で練習したプリントは、アメちゃんや宝くじと交換できるし、一石二鳥です。

また、休んだ日の振り替えで、土曜日練習（自由参加）を利用するのも、オススメ。土曜日練習は、分からない問題や新しい級の勉強を習うのにも便利だし、そのうち土曜日練習が習慣になれば、一気に実力アップします。どうせやるなら、うまくなったほうが絶対楽しい。出来ることが増えれば、もっとそろばんを好きになる。まずは、『出来るだけ教室を休まない』ことを目標に、ちょっと気が乗らない日も教室に来よう!!

今回の検定試験でズラリと並んだ段位の取得者、教室で練習する姿もかっこいいね。高段位を取得する生徒の皆さんに共通しているのが、練習を休まないこと、土曜日を含め週3回以上の練習をしていること、自宅でも練習していること、です。そろばんに最も大切なのは、才能ではなく、努力です。努力の仕方を覚え、その努力が報われた喜びを味わえば、どんなことでもきっと惜しみもなく努力できる人になれると思うんです。そろばんは、過去の自分との勝負。今日の自分より1ミリでも先に進めば、半年、1年後には驚くほど成長した自分が待っているはずですよ。